

◆事務所事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。
NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)建設の滋賀県域:12.2km及び甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。

3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

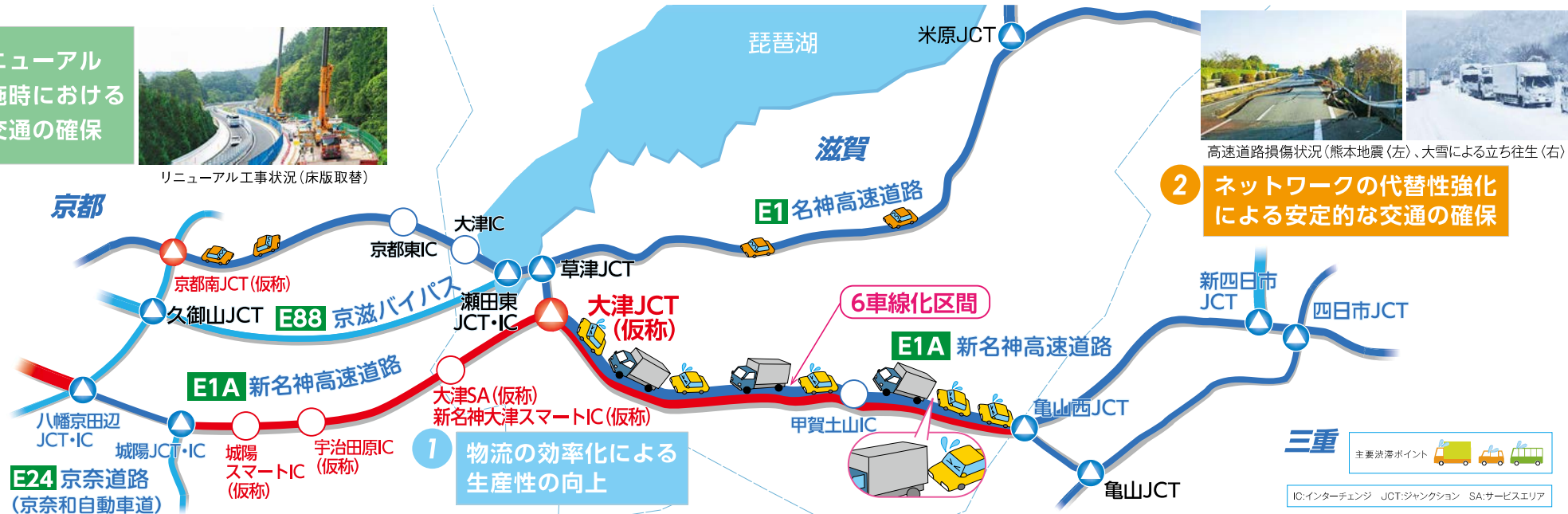


リニューアル工事状況(床版取替)



高速道路損傷状況(熊本地震(左)、大雪による立ち往生(右))

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保



1 物流の効率化による生産性の向上

三重 主要渋滞ポイント

IC:インターチェンジ JCT:ジャンクション SA:サービスエリア

◆新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)滋賀県域:12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得及び埋蔵文化財調査は完了しています。工事は、全ての工事区で着手しています。なお、新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)(八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間)の6車線化が事業化され、合わせて工事を実施しています。

◆各地区の進捗状況(令和4年10月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区間	進捗率(%)	大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC(滋賀県域)(12.2km)											
		大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名(km)		小白原町	龍門町	中町	東町	関津	里	枝町	森町	羽栗	新免	中野町	牧町
		2.1km	2.4km	0.4km	1.5km	1.0km	0.3km	0.7km	0.5km	0.8km	0.4km	0.9km	1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
埋蔵文化財調査	-	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
工事着手	本線	100	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
	工事用道路	-	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	

◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果

1 物流の効率化による生産性の向上



新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

6車線化によって、低速の大型車と高速の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込めます。



2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保



名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。



3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

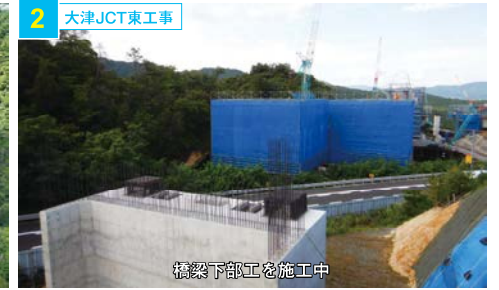
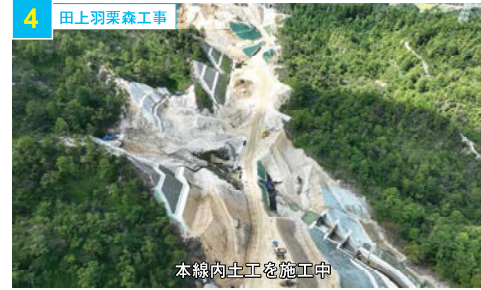
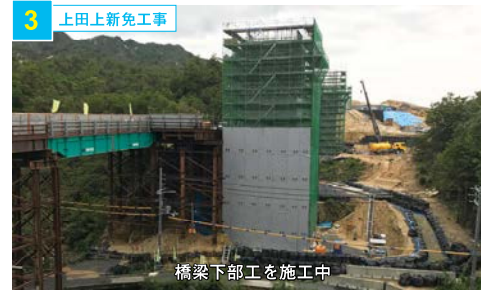


名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主なう回路が新名神高速道路となります。

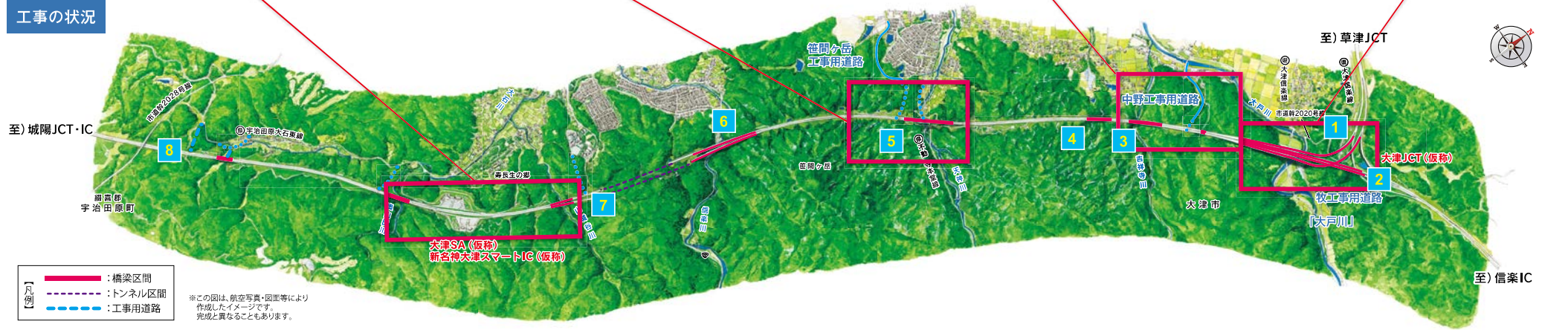
名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。



新名神高速道路 大津JCT(仮称)～城陽JCT(仮称)間工事状況



工事の状況

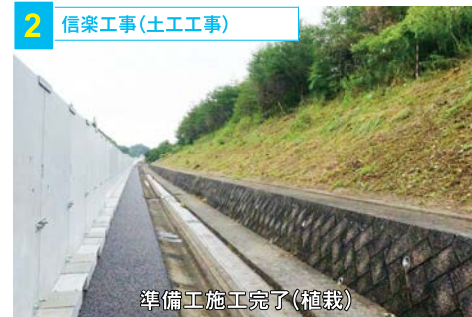
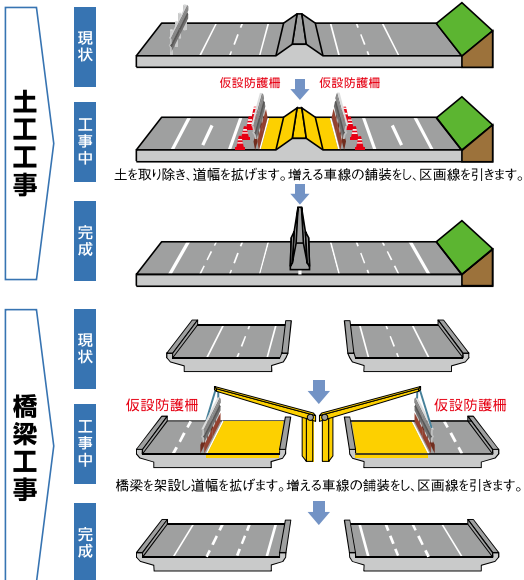


新名神(大津JCT(仮称)～亀山西JCT間)の6車線化工事に伴う車線規制を実施しています。
～車線規制や路肩が狭くなる区間がございますので、注意してご走行ください～

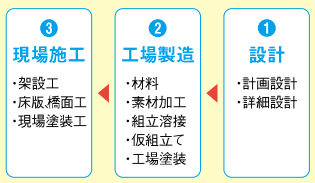
6車線工事の内容

NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業を進めています。6車線化に向け、土工工事や橋梁工事、そして舗装工事などを行います。
※仮設防護柵設置時に車線規制を行います。※工事中は路肩が狭くなるので、注意して安全走行をお願いします。

順次6車線に広がります!



【鋼橋架設 全体の流れ】



■ 橋梁(きょうりょう)とは?

橋梁とは、川や深谷、海などを横断する(渡る)ために架けられる構造物の総称です。橋台や橋脚を「下部工」、橋脚と橋脚の間をひと跨ぎする主桁などを「上部工」と言います。「上部工」にどんな素材を使用しているかで、「鋼橋」「コンクリート橋」「石橋」「木橋」に分類できます。

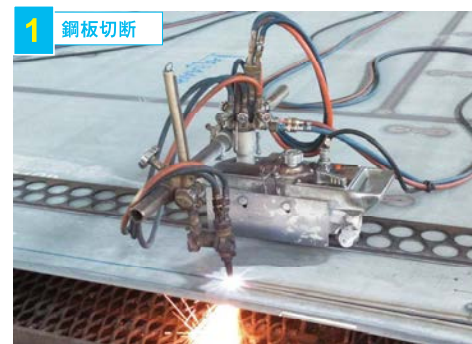
■ 鋼橋(こうきょう)とは?

橋の主要部に鋼材が使われ、鋼板とボルトを組み合わせて建設する橋のことです。桁を、予め工場内で仮組立し、実際に施工できるかを確認した上で現場に運ぶため、コンクリート造りの橋と比べて短期で施工できるのが特徴です。本工事では、鋼橋を採用しています。

■ 大津JCT(仮称)～城陽JCT(仮称)間

鋼橋の架設について(工場から現場まで)

大津JCT～城陽JCT間の上中野橋において、橋梁架設を進めています。本工事ではベントという支柱を設けて、仮の支柱で橋体を支持することで施工実施を行っています(ベント工法)。この工法を採用することで、少ない仮設備・短期間で架設することができます。



活躍する重機の紹介

この現場では、大型クレーン(500tクローラークレーン)を活用しています。道幅におさまらないほど大型なため、クレーンのパーツを分けて現場に運び、別のクレーンで組み立てています。足回りの幅が大きくとれ、安定性が高く、全周どの方向でも吊り上げられるのが特徴で、橋の施工に用いられています。

▼クローラークレーン(500t)

